

春の高校生1日病院体験に

121名が参加!

米の山病院では毎年恒例の高校生1日病院体験を3月27日に開催し、市内はもとより筑後・荒玉地域の11高校から過去最高の121名の受入れを行いました。参加した高校生たちは、開会式で橋口院長と平野看護部長より、『チャンスは自分で掴みとるもの。今日の体験を、自分の夢を掴むチャンスの一歩にしてほしい』と激励された後、医師をはじめ薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・放射線技師・管理栄養士などの職種ごとに分かれ、病院内見学、職場体験や職員との懇談を行いました。

参加者からは、『医療の仕事の厳しさがわかった』『笑顔で人の役に立ってるって凄いなあって感動した!』『車椅子や杖歩行体験では身体が不自由な方の苦労や気持ちをもっと知ることができた』『人との出会いが沢山ある病院で、人の為に働けるのはとてもいいことだと思った。米の山病院の看護師さんみたいになりたい!』『看護の仕事は命にかかわる分責任も大きく、大変なこと多いことが分かったが、患者さんが元気になれる姿にやりがいを感じられたし、ますます看護師になりたい思いが強くなった』『受験勉強にも励みができました』などと私たちも励まされる感想が数多く寄せられました。

今回の特徴では、史上最多の受け入れだったこと、後継者育成対策の一環として全職員で取り組めたこと、医学生(奨学生)もボランティアで当日運営に関わるなど、準備段階から話題性には事欠きませんでした。今後も、広く熱く私たちの医療活動を引き継ぐ医療の担い手づくりに邁進していきます。

医師部 渡邊紀美子



医師紹介

整形外科 高口 太平 医師



今年度より赴任しました整形外科の高口太平です。親仁会には初期研修医の時期と、2007年から2008年にかけて勤務していました。この度、再び米の山病院にて勤務することになりました。依然として修

行の身ですので、何が得意という訳でもないですが、1人でも多くの整形外科疾患に悩む患者さんの治療に携われたらよいなと思います。
今年度の目標は、整形外科医としては整形外科専門医を取得することで、私的には、減量することです。20代までは見た目程度の問題であった体重増加も、最近では多方面に影響を及ぼすようになってきており、少しビクビクしながら過ごしています。専門医試験に向けた準備は遅々として進んでおりませんし、減量のプランは全く立てていませんが、千里の道も一歩から。とりあえず、一歩を踏み出すための準備体操から始めていこうと思います。ちなみに、自転車通勤すればいいかなとか考えて、病院までのルートを調べたり、自転車のカタログを眺めてみたりして頑張っています。応援宜しくお願いいたします。
最後になりましたが、私まだまだ若輩者です。何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、宜しくお願いいたします。

2010年4月

診療報酬改定について

2010年度は2年に一度の診療報酬改定の年にあたります。診療報酬は、この10年の間社会保障費2200億円の削減をはじめとした構造改革路線とも相まって、マイナス改定を強いられてきました。今回の改定では0.19%(本体1.55%増、薬価・材料費1.36%減)のプラス改定と言われていますが、「後発品のある先発品の追加引き下げ」で捻出される600億円分(0.16%減)も含めれば、改定率は0.03%増(100億円)で「実質ゼロ改定」の中身となっています。「実質ゼロ改定」では「過去のマイナス改定を回復し、病院の入院基本料をはじめとする診療報酬の大幅な引き上げによる医療費全体の底上げを強く求める」という切実な医療界の要求からは、ほど遠く、地域医療の崩壊をくい止め、根本的に立て直す改定にはな

りていません。
今回の改定は、私たちが要求していた救急・産科・小児科・外科(手術)など急性期医療に係わる引き上げや高齢者に特化した診療報酬点数の廃止、看護補助加算・リハビリ・がん医療・在宅医療・医療連携などの一部評価も反映されているものの、「実質ゼロ改定」の限界から、多くの矛盾をはらぶ

ものとなっています。

今回の改定の特徴は、大規模急性期病院や入院料加算の引き上げなどの重点配分(44千億円)に留まり、病院の入院基本料の引き上げに至らないことや診療所の再診料を引き下げたことです。これでは、中小病院は1%前後の引き上げに止まり、診療所は再診料や画像診断・検査・透析等の引き下げでマイナス改定となります。深刻な経営危機と地域医療の崩壊をくい止めるどころか加速しかねない状況となっています。

貧困と格差が世代各層に広がり、国民のいのちと健康が脅かされています。私たちは、地域医療の崩壊を防ぐための診療報酬の大幅な引き上げを行うとともに、世界一高い患者負担の引き下げや急増している「無保険者」の根絶を強く要望し、実現に向けて運動していきます。

特に、医療費の窓口負担「ゼロ」をめざし、当面75歳以上の高齢者と就学前の子どもの医療費の無料化、他の保険も「3割から2割」「2割から1割」へ患者の自己負担の軽減を強く要望し、実現のため共同組織のみなさんとともに運動を展開していきます。

医事部 船津 毅

平和コンサートと NPT 核不拡散条約再検討会議 壮行会のタベ



4月15日米の山病院デイサービスセンターで「平和コンサートとNPT壮行会のタベ」が行われ、100名が集いました。コンサートは大牟田センター合唱団のうたごえから始まり、三池支部九条の会から詩の朗読や詩吟、「三池の里」のうたごえが披露され、永友医師の華麗なピアノ演奏や本部職員・林さんのドラム演奏が会場に響き渡りました。後半は、平和アクションプラン推進委員会から長崎平和学習会の報告、NPTに参加するみさき病院・玉田さん、東さんの壮行会で、最初に大牟田原水協の下川会長よりNPTの状況や平和運動について報告し、参加する二人に「核兵器のない世界を」署名を託し、激励の寄せ書きや「三池でまり」を寄贈しました。これに応え、東さんは習いたての英語スピーチを披露。玉田さんから『平和への願いを、必ず世界に届けます』と頼もしい決意表明がありました。最後に、参加者全員で合唱曲「ねがい」を歌い、平和への思いがひとつになる一夜となりました。

親仁会組織部 福田 恭介



健康友の会 会員拡大年間目標達成



米の山病院は、3

月に健康友の会の年間拡大目標450件を達成しました。

今まで年間400件以上の拡大をしたことがなく、過去の実績からみればかなり無謀な提起かと思えましたが、「三二月間」を3月に設定し全職員で行動しました。外来フロアに三二月間コーナーを設置し、腕章をはめ未入会の方1人ひとりに声をかけました。病棟でも拡大が進み、何と3月19日に450件を達成！わずか19日での成果です。

0件を達成！わずか19日での成果です。会員さんが、未入会の方を友の会コーナーで紹介されたり、身内や知人に「入会を勧める」と入会申込書を持っていかれた方もおられます。協同基金や建設債の申し込みにみえた方など、胸が熱くなるようなドラマがありました。米の山病院は本当に地域の皆さんに支えられている病院だと改めて実感しました。2010年度も450件の拡大が目標です。引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

組織部 齊田 隆幸

入社式

4月1日緊張と希望に つつまれて、親仁会入社式が行われました。

今年、米の山病院に配属された職員は、薬剤師、看護師、臨床工学士、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、事務の18名が入職しました。どうぞよろしくお願います。



豆腐コロッケ with トマトソース



材 料 5人分

- ・木綿豆腐……1/2丁
- ・玉葱……1/2個
- ・合挽きミンチ…75g
- ・サラダ油…大さじ1
- ・塩・こしょう…適宜
- ・バター……少々
- ・卵 ……0.7個
(残りは衣の卵に使う)
- ・薄力粉……少々

調理師
倉員 正利



【トマトソース】

- ・トマト……1個
- ・ホワイトソース(市販)…50g

【衣】

- ・溶き卵…0.3個(残りの分)
- ・小麦粉、パン粉…それぞれ適宜

【飾り】 それぞれ適宜

- ・イタリアンパセリ・ピーマン
- ・レモンスライス

作り方

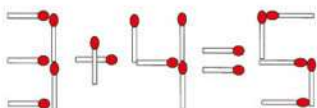
- ①豆腐は熱湯にいれ数分茹でてから、清潔な布巾に包み、きつく絞り水を切っておく。
- ②トマトソースを作る。トマトはよく洗いミキサーにかけてから火にかける。その中に、少しの水で溶いたホワイトソースを入れ、塩コショウで味を調える。色が薄いようなら、お好みでケチャップを入れる。
- ③玉葱はみじん切りにしておく。熱したフライパンに油を入れ、みじん切りの玉葱を炒め、ある程度火が通ったら、肉、豆腐も加え炒める。しっとりするまで炒めたら、塩、こしょう、バターで味付けをして火からおろす。
- ④粗熱が取れたら、卵、薄力粉を入れよく混ぜ、俵型に成形したら、扱いやすくするためしばらく冷蔵庫で冷やす。これに衣用の小麦粉→卵→パン粉を付け、180度の油でこんがり揚げます。
- ⑤トマトソースを皿にひいてコロッケをのせ、イタリアンパセリなどを飾り付けて出来上がり。



クイズ 頭の体操

問題

マッチ棒で描いた式があります。マッチ棒を1本動かして式が成立するようにして下さい。



No.38(3月1日号)の答は 朝と萌でした。

ご応募ありがとうございました。正解者は16名でした。
クイズ当選者：平野 思羽様(大牟田市)、永井 道子様(大牟田市)、富崎 裕治 様(大牟田市)、古澤 喜美子様(大牟田市)、横山 八代子様(大牟田市)、当選者の方には粗品を進呈します。

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただく受付までお持ち下さい。FAXでも可。切は2010年6月10日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

読者の声

- ☆口腔ケアの記事は大変参考になりました。母が入院中に口腔ケアをしてもらいました。時々、私も周りの方へ教えています。これからも参考になる内容をお願いします。
(大牟田市・N様)
- ☆口臭の自己診断と対策は、気になる事柄ばかりで、とっても役立ちました。「ピーチムース」作ってみました。とってもおいしいですね。
(大牟田市・K様)
- ☆年1回、健康診断でお世話になっています。皆さんの親切なアドバイス等に心が和みます。
(大牟田市・F様)
- ☆地域医療連携懇親会の取組みに賛同された病院とこれから連携されることは私たちにとって、とても心強いことです。国の医療・福祉政策の貧困が少しでも改善されることに、もっともっと多くの医療機関が理解を示される事を願ってやみません。
(大牟田市・Y様)

皆様からのお便り
ありがとうございました。



携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>
または QRコードからどうぞ